楽しく美しいまちづくり通信…76

歴史の散策 パート(Ⅱ)

古い歴史をもつ二戸市。

一月号では、川原橋を起点に船場から岩谷橋まで地名の由来を辿ってみました。

今回は、追分石を起点に、残りの旧福岡町を辿ります。

【追分石】現在のサゲン化粧品店脇に消火栓があります。その隣に「右盛おか　左しらとり」と刻まれた追分石は、安永四年、時の代官大巻秀詮（勇助）によって建てられたものです。

左は川又小路（旧道）で侍屋敷が並び、進むと伊保内街道に通じていました。

いにしえの案内標識　追分石

【福岡代官所跡】福岡代官所は元和二年に創始されましたが、享保年中この地（國分氏宅）に移り、以降明治二年まで御役屋と呼ばれていました。

明治八年には福岡小学校が建てられ、小学校は明治四十年に現在の地に移りました。

【落久保】昔は白鳥川に向かって落ち込んでいた急坂で、明治二十年、岩谷橋架橋の折りに盛り土をして現在の姿になったといわれています。

【下斗米大作生家跡】※現在のタケダスポーツ駐車場

下斗米秀之進将真は、宗兵衛将信二男として寛政元年二月二十一日ここ宗兵衛屋敷で生まれました。

幼名は来助（雷助）といいました。

【福岡駅所跡】※現在のタケダスポーツ駐車場

江戸時代、福岡の宿駅がここにあり、常時、数頭の伝馬と人足が待機していました。

駅所には、宿役人・書留役・小走（連絡員）などが常駐していたそうです。

【明治天皇御駐輦之地】※現在のホテル村井

明治九年七月九日、東北御巡幸時並びに、明治十四年八月二十三日、東北北海道御巡幸時、村井治兵衛宅に御小休なされました。

【御高札場跡】※現在の愛宕道

江戸時代には、定めやお触れを墨書きした高札が、人々が集まる辻などに掲げられていました。

福岡は愛宕神社入り口、金田一は八坂神社の入り口に高札場があり、十数枚程の高札が掲げられていたそうです。

【一里番所跡】※現在の福新ストアー

江戸時代、書状の往復は極めて不便でした。公の文書は、宿駅に一里番があり、次の宿駅まで逓送したそうです。

これを、駅伝とか一里状と呼びました。

【呑香稲荷御旅所跡】※まるさき生花店の北側

宝暦十三年、藩主利雄公が六角神輿を奉納してから千石格の神輿渡御行列が行われるようになりました。

福岡町北端に御旅所（御仮屋）が建てられ、神輿はここに一泊して還御された後、翌日御湯立が行われて三日間の祭礼が終わりとなりました。

【水晶橋跡】上野沢の湧水が流れる清冽な細流が水晶川で、馬淵川に落ちる懸崖が水晶滝です。

国道改修前はここに木戸があり、旧福岡町の北端でした。

四間程度の橋が水晶橋（現在は暗渠）で、これを渡ると長瀬になりました。

――◇――◇――◇――◇――

一月号・二月号とで、旧福岡町を中心に、地名の由来を辿ってみました。

今でも、地名に由来を残すものもあれば、その面影すら感じさせないものも多くあります。

由来を訪ねて街を散策してみるのは、歴史に培われたこの街に暮らす私たちにとって、手軽にできる心の贅沢に思えます。

こよみ

2月11日～3月10日

★2月★

11日（金）建国記念の日
12日（土）
13日（日）**第17回二戸市郷土芸能祭**（市民文化会館）
14日（月）
15日（火）**4か月健診**（保健センター）
16日（水）
17日（木）**法律相談**（第3相談室）、**2歳歯科健診**（保健センター）
18日（金）
19日（土）雨水（二四節気）
20日（日）
21日（月）
22日（火）**1歳6か月健診**（保健センター）
23日（水）
24日（木）**行政相談**（第3相談室）
25日（金）
26日（土）
27日（日）**第26回市民かるた大会**（市民文化会館）
28日（月）
29日（火）